

簡易版 TP（ティーチング・ポートフォリオ）

氏名	作道 章一
所属機関名	獣医学部 獣医学科
職位	教授
在籍年	6 年

教育の責任

獣医学部に所属し、食品衛生学を中心とした教育・研究活動を行なっている。主たる教育活動は専門科目（食品衛生学・食品衛生学実習・レギュラトリー科学・獣医キャリアスキルアップ研修など）の担当、ゼミ生の研究支援、チューター業務である。

教育の理念

食品衛生学は、食品の生産から消費に至るまでの全工程において、人の健康を守るために科学的根拠に基づき危害要因を分析し、防止する方法を研究・実践する学問である。食品衛生学に関する知識や技術を教授することで、学生が獣医師を含む公衆衛生分野や食品産業の専門家として必要な科学的基礎知識を習得し、それを他者に伝える力を養うことを目指す。また、国家試験の問題に対応できる専門基礎力を身につけさせるだけでなく、社会に存在する課題を発見し、科学的根拠に基づいて解決へ導くための思考力を培う。

教育の方法・方針

理念を実現するために、以下の 2 つの教育内容を中心に据え、対応する方針と方法を示す。

（教育内容 1）

方針：食品が人の健康に害を及ぼす要因と、その作用機序を理解する。具体的には微生物、化学物質、物理的要因による食品の汚染や変質のメカニズムを学ぶ。

方法：学生が自らの理解度を客観的に確認できるよう、小テストを実施して把握する。また、解説を行い、必要に応じて個別の質問対応も行う。

（教育内容 2）

方針：食形態の多様化や国際化に伴い生じる新たな食品安全の課題に対応できる力を養う。

方法：食品安全に関する法規制の概念と内容を学び、実際の健康被害事例を分析する。さらに、HACCP をはじめとする食品衛生管理手法をグループ学習によって演習し、効果的な食品衛生管理のアプローチを身につける。加えて、グループでの学習や対話を通して、コミュニケーション能力も育成する。

教育の成果

食品衛生学（獣医）の授業アンケートでは、「あなたはシラバスに書かれているこの授業の目標を達成できましたか」「できた」または「だいたいできた」と回答した学生が 94.4%を占めているため、責任科目の到達目標は概ね達成されていると考えられる。また、自由記述には「毎回小テストがあったので常に緊張感をもって受講できた。今後も続けてほしい」との意見が寄せられており、小テストによる理解度確認を継続する必要性が示唆された。さらに、「大好きです。面白かったです」「食品の衛生や食中毒の予防・対処について理解できて面白かった」といった前向きな感想もあった。

今後の目標

食品衛生学は、食の安全・安心に関わる諸問題を総合的に理解するために不可欠な学問である。この学問を学ぶことで、社会における課題を解決するために必要な科学的基礎知識を修得し、それを適切に活用する力を身につけることができる。教育者として、その力を育成できるよう努めたい。また、食品衛生学に関する研究を継続し、最先端の情報を常に収集するとともに、得られた知見を教育に反映させたい。さらに、自己研鑽として、日本食品安全協会の上級健康食品管理士資格の更新試験受験や研修会への参加、日本 HACCP トレーニングセンターにおける HACCP コーディネーター資格の更新などに取り組み、専門性の一層の向上に努めていく。

根拠資料

シラバス、小テスト、教材（配布資料）、授業アンケート結果